
初恋を君のために_____。

m&u

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

初恋を君のために――。

【Nコード】

N0202Y

【作者名】

m&a m p ; u

【あらすじ】

新しい学年に進学した
小5のシナ。

新しいクラスメイトに運命を感じる……――。

第一章。く始まりの日く

桜が散り始めたあの日…

私の物語は幕を開けようとしていた。

く初恋を君のために——。く

「みなさん、今日から新しい学年です。」

そんなことはどーでもいい。

そんなの誰だって知っていることだ。

今日から私だって5年生。

気持ちを入れ替えて、心も落ち着いて…

いるわけじゃあない。

新しいクラスメイトとの付き合いが

心配でたまらなかった。

いじめられないか？

嫌われないか？

不安な気持ちを抑えて、

クラス名簿の紙を受け取る。

周りからは、

「同じクラスだな」とか、

「あの子と同じクラスなんていやだ」

などと騒がしくなった。

「同じくらすだね!」

言ってきたのは親友の優だった。

第二章。最初の気持ち

「あ、優。同じクラスなのは
1年生以来だよね！」

思わずテンションがあがってしまった。

「ほかに、としくんとか
りょうすけくんとかもいるんだって！」

5年生にもなって異性を「君」付けっ
て…

私は、クラス名簿をポケットの中に

折りたたんで入れた。

そしてただ単に

目指したのは新しい教室。

「5年1組か…。」

私はそつと教室のドアを開けた。

見るからに普通の教室。

なれてうれしい子もいれば、

もちろん嫌な子だっていた。

「大縄、席ここだぞお。」

呼んでくれたのは、

前まで同じクラスだった井口。

「あ、うん。」

ここが新しい席…か。

井口の隣なんだ。ちょっとうれしかった。

私は4年生の時、井口が好きだった。

面白くて、明るくて、憧れの存在だった。

きつと今も…まだ…

まあ、そんなことはどーでもいい。

私の後ろの席はりょうすけ。

さつき優が「君」付けで呼んだうちの一人だ。

その隣は…1年生のとき以来の

りいなちゃんだ。おとなしく頼れる存在だ。

私の斜め前は…

かいとだ。初めて同じクラスになる。

4年生のときにトラブルばかり起こしていた人だから

少し心配だ。

そして私の前が…

えっと…

「氏家」というらしい。

こいつの存在を知らなかった。

漢字の読み方がいまいちわからない…

「ふじいえ」…と読むのか？

でも、この席順は見るからに名前順だ。

私は「おおなわ」だから、

「ふ」の人が私より前にいてはいけないはずだ。

先生に言おう。

すると、井口が…

「うじいえ、おまえ…うわあ
おまえとなるの嫌だったなあー!。」

といった。

う、うじいえ？

うじいえと読むのか。変わった苗字だなあ。

「黙れっ!!!」

うわっ、性格悪いな。

めんどくさいやつだ。嫌いだな

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0202y/>

初恋を君のために_____。

2011年10月29日16時26分発行